

(別紙 4(2))

目標達成計画

(介護予防) 認知症対応型共同生活介護

事業所 グループホーム みどりの郷ほんじょう

作成日：平成 28 年 4 月 23 日

優先順位	※項目番号	現状における課題、解決すべき問題点	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		法人が掲げる基本理念に基づいて実践されるべき運営において、グループホームの運営方針、行動指針、介護マニュアル、技術熟達度等が職員それぞれ根付いていない。	全職員が入居者たる家人に対して責任を自覚し、技術の習得、毅然とした介護姿勢、職業人たる規範に基づく援助に努める。	・研修、学習会、講演会等に積極的に参加することで不断に学習を重ね意識や技術の向上を図る ・事例検討を進める過程でより良い処遇の在り方を模索し、質の向上を図る ・規則、ルールに準拠した社会人たる規範意識の醸成を図る	12 か月～ 継続
2		外出の機会が少ない。	不活弁にならないように、体操や外出、入居者の各々の役割を見出し、充実感を味わえる生活プランを実施することで、それぞれ入居者の保有する得意な領域の活動範囲を広げる。	・季節や節気の行事や風景に親しむ企画を盛り込むことで外出の機会を増やし、誘導する ・例えば、外食の企画を立てることで外出する目的に楽しみを見出せる工夫を行う ・日常的に入居者それぞれに役割を担っていただき、ホーム内に閉じこもりがちにならないようよに生活リズムをマネジメントする	12 か月～ 継続
3		防災訓練が予定通り開催できていない。	熊本などで起きた地震を教訓とした火災や地震、水難等災害に対する全職員の危機意識を持った定期訓練を実施する。	・火災、災害への取り組みを周辺地域一体となった訓練として、定期に実施する ・消防局等、行政当局の指導を仰ぎ、職員入居、地域の共有した意識訓練に取り組む	12 か月～ 継続
4					

1 目標達成計画は、現状認識の共有と課題や問題点の把握、事業所のステップアップへ向けての取り組む目標の設定です。たくさん掲げることで焦点がぼやけないようスタッフ相互で話し合い、直近に優先して取り組むべき具体的な計画を記入してください。

2 ※は記入しないでください。